

※諸事情により発行が遅れましたことを、お詫び申し上げます

長井市立  
長井南中学校  
学校便り

# 南中生

令和3年  
10月29日(金)  
第28号



## “宇宙のすばらしい地球人になろう”

10月22日(金)創立40年記念事業の一つである創立記念講演が、長井市民文化会館を会場に長井北中学校と合同で開催されました。講師は宇宙飛行士である毛利衛さんで、演題は「宇宙からの贈りもの 我々は何故挑戦し続けるのか」です。毛利さんは、1992年44歳の時にスペースシャトルで宇宙に飛び立った初めての日本人です。2000年にも宇宙を経験されています。

毛利さんは講演の中で、中学生の頃「地球は青かった。」というガガーリンの言葉を聞いて「どんな青なんだろう。」と思い、また、皆既月食現象時の真昼の星空を見て「自然を知りたい」と科学の道に進んだと話されました。

また、スペースシャトルに搭乗した時の映像をもとに、「宇宙でリンゴの皮をむくとどうなるか」「受精したニワトリの卵は宇宙から帰還後ヒヨコになるか。」など生徒に質問をしながら科学の不思議について話されました。

さらに宇宙から見える地球の映像から地球温暖化や環境問題にふれ、「わからないと簡単にあきらめない。アイデアと行動で解決できる」と語りかけました。

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

これからの時代はグローバル化が一層進み、国境を越えて地球規模で物事を考え生活や活動する時代になるといわれています。毛利さんからいただいた言葉「宇宙のすばらしい地球人になろう」は、これからの皆さんの進む道の指針になると思います。



### ～生徒の感想～

今回の講演をお聞きして僕が考えたことは、この青く輝く地球を守っていかなければならないということです。僕は、宇宙から見た地球を見て、とてもきれいだと感じました。毛利さんは地球の青さを「生命の輝きのように」とおっしゃっていました。しかし、宇宙に熱を出せない地球は、どんどん温暖化が進んでいることもお聞きしました。僕は、この生命の輝きを失ってはいけないと思いました。毛利さんは、「このことはみんなのアイデアで改善できる」とおっしゃっていたので、様々なアイデアを考え、地球の輝きを守っていききたいと思います。



(2年 竹田 光くん)

宇宙のすばらしい  
地球人になろう  
毛利衛

長井南中学校の  
皆さん

2021年10月22日

